

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 農地の利用集積はおおむね進んでいるが、地域の中心となる経営体のみでは担い手不足のリスクがある。
- 高齢化や離農等により、今後、耕作放棄地の発生が予想されるため、防止するための受け皿対策が課題である。

【支援内容・背景】

- 地区の農地は水田の割合が多いため、今後も水稻の生産を中心に認定農業者等をはじめとした担い手への農地の集積を進め、地域と担い手が一体となった農地運用を行い効率的な稲作を推進していく。
- 高齢化や離農等による農業者の減少を受けて、農地の受け皿となる中心経営体の発展に向けた支援を進めていく。



助成対象者「株式会社 白浜営農」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成2年 組織設立(農事組合法人)
- 平成8年 経営改善計画の認定
- 平成12年 プライベートブランド特別栽培米「神守米」商標登録
- 令和元年 法人化(株式会社)

《事業活用の背景》

- 経営規模の拡大のためには、収穫後の作業の更なる効率化が必要。
- 売上高増加に向け、米の高品質化に資する選別能力が高い色彩選別機を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 176百万円
- 経営面積 192ha

《事業による整備内容》

- 色彩選別機 一式
事業費 30,610千円
(国費 13,913千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 363百万円 (206%)
- 経営面積 205ha (107%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化による経営面積の拡大や良質な米の生産が可能となり、売上高の増加が実現。
《地区》 当該経営体の経営発展により、津島地区、永和地区、神守地区の農地集積が進み、農地の集約化に大きく貢献した。